

ハイボンドカルボセメント

【禁忌・禁止】

- 1) 本材又はポリカルボキシレートセメントに対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。
- 2) 本材又はポリカルボキシレートセメントに対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある術者は使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

【構成】

構成	性状	成分
粉	粉	酸化亜鉛、酸化マグネシウム、HY材、その他
液	液	アクリル酸-トリカルボン酸共重合体水溶液、酒石酸、精製水

【原理】

酸化亜鉛、酸化マグネシウムとアクリル酸-トリカルボン酸共重合体水溶液との酸-塩基反応により硬化する。

【使用目的又は効果】

歯科修復物又は装置を口腔内硬組織又は装置に密着させるための合着材、修復時の裏層材及び裏装材として用いる。

* 【使用方法等】

【使用方法】

1) 粉液の採取

- ①合着の場合（標準粉/液比は、2.2g/1.0g）
粉量計1杯分の粉に対して、液3滴を取ります。
- ②裏層（装）の場合（標準粉/液比は、3.2g/1.0g）
粉量計1杯分の粉に対して、液2滴を取ります。

* 2) 練和

粉と液を紙練板又はガラス練板上に採取し、粉を2等分し、液の中へまず1/2を加えスパチュラで15秒～20秒間練和し、残りの粉1/2を加えて練板上を広く使って均一に練り上げます。

練和温度条件：23±1℃

練和時間：60秒以内

	合着	裏層（装）
操作時間	3分	2分
硬化時間*	4分	3分

* 測定はJIS T 6609-1：2005 歯科用ウォーターベースセメント-第1部：粉液型酸-塩基セメントに準拠する。

3) 合着

補綴物及び歯質の合着部を清掃、乾燥した後、練り上がったセメント泥で通法に従い合着します。

4) 裏層（装）

通法に従って、窩洞に裏層（装）を行います。

【使用方法に関連する使用上の注意】

- * 1) 操作可能時間は、室温が23℃より高い場合は短くなり、23℃より低い場合は長くなるので注意すること。
- * 2) 粉を採取する際は、付属の粉量計を用いてすり切ることにより計量すること。
- * 3) 液を採取する際は、容器を逆さにして気泡を抜いてから計量すること。
- 4) 正しい計量のために、液容器のノズルに付着した液は、湿ったガーゼなどで拭き取る。
- 5) 粉及び液の容器は、使用后すぐに密栓すること。特に粉は、湿気に触れないように注意すること。
- 6) 使用に際しては、練和物の光沢が消えないうちに使用すること。
- 7) 練和途中で液を追加すると、性能に悪影響を及ぼすので避けること。
- 8) 補綴修復物からの余剰セメント泥は、軟らかいうちに湿ったガーゼなどで速やかに除去すること。

- * 9) 露髄又は窩洞が歯髄に近接した場合は、水酸化カルシウム製剤等を用いて歯髄保護を行うこと。

* 【使用上の注意】

【重要な基本的注意】

- * 1) 本材の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、腫脹、かゆみ、しびれ等の過敏症状が現れた患者には使用を中止し、医師の診察を受けさせること。
- * 2) 本材の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、腫脹、かゆみ、しびれ等の過敏症状が現れた術者は使用を中止し、医師の診察を受けること。
- * 3) 粉、液又は練和物との接触による過敏症を防ぐため、医療用（歯科用）手袋及び保護眼鏡の着用等の防護措置を執ること。また、口腔軟組織や皮膚に付着した場合には、すぐにアルコール綿等で拭った後、大量の流水で洗浄すること。
- * 4) 粉、液又は練和物が万一目に入った場合には、すぐに大量の流水で洗浄し、眼科医の診察を受けること。

【保管方法及び有効期間等】

【保管方法】

- ・直射日光、高湿度を避け室温（1～30℃）で保管すること。
- ・本材は、歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

【有効期間】

本材の使用期限は包装に記載のとおり。

[当社データによる]

※（例） YYYY-MM-DD は→使用期限 YYYY年 MM月 DD日を示す。）

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者 株式会社 松風
住所 〒605-0983
京都市東山区福稲上高松町1-1
電話番号 075-561-1112